

哲學研究

第五百六十號

平成六年十月二十日發行

彙報

- 近世初頭における自然哲学と自然科学…………… 藺田坦
- エペクタシス…………… 土井健司
- ニュッサのグレゴリオスにおける「無限」の問題 ——
- 論理的帰結関係をどう定義するか…………… 橋本康二
- マイスター・エックハルトにおける「自由」の問題…………… 松井吉康

京都大學文學部内
京都哲學會

京都哲学学会規約

- 一、本会は広義における哲学の研究とその普及を図ることを目的とする。
- 二、右の目的のために左の事業を行う。
 - (一) 会誌「哲学研究」を発行する。
 - (二) 毎年公開講演会を開く。
 - (三) 随時研究会を開く。
- 三、本会の事業を遂行するために委員若干名をおく。委員は京都大学文学部哲学科教官及び委員会において推薦したものに委嘱する。
- 四、本会は賛助員若干名をおく。賛助員は会員の中から委員会が推薦する。
- 五、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けない。学校・図書館・其他の団体は団体の名を以て入会することができる。
- 六、会員は年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円（数冊分）を前納する。
- 七、会員は会誌の配布を受け会誌に予告する諸種の行事に出席することができる。
- 八、本会は事務所を京都大学文学部内におく。
- 九、規約の改正は委員会の決定による。

京都哲学学会役員
委員

池田秀邦 乾敏一 岩城見七 内山勝彦 内山俊彦 内山直行 苧阪尚好 加藤曾好 木曾善代 佐々木水御代 清田善代 清田水御代 蘭井田 筒井田 土井田 徳永宗健 中村俊宗 長谷正俊 濱野正研 藤田素正 寶月素正 松田素正 御田素正 水垣素正 山本素正

會 告

京都哲學會公開講演會豫告

日時 十一月三日(木)午後一時半
會場 樂友會館

一、鎌倉以降における彫刻の衰微について……京都大學教授 清水善三
——日本彫刻の可能性と限界——

一、一般化逆光學について……京都大學助教 乾 敏郎
——知覺と認知の計算理論——

(順不同)

※ 右終了後京大會館において懇談晚餐會(パーティー形式)を開きます。(會費五千圓)
※ 所屬機關長宛出張許可依頼狀御入用の方は京都哲學會までお申出下さい。
※ 當分の間、本學會公開講演會は毎年十一月三日に、開催いたします。

平成六年九月

京 都 哲 學 會

(20) 存在理解や他者理解は、単なる理論的な知識の問題ではない。そういう理解は、存在や他者に対する我々の態度を決定するものとなるからである。例えば私を取り巻く世界を「私が生きていくための道具」と見るか、「私を生かしてくれるもの」と見るかという理解の違いは、世界に対する我々の態度を決定的に変えてしまう。存在理解や他者理解は、モラルに関して無記ではあり得ないのだ。

(筆者 まつい・よしやす ミュンヘン大学東アジア研究所〔日本学〕講師)

次 号 論 文 予 告

対話と想起

——プラトン哲学への「方法叙説」——
内山勝利

デカルトの存在判断

——明晰判明知の射程——
倉田隆

真理・個・本質

——オウベルニュとアクイナス——
藤本温

前 号 目 次

董仲舒における歴史意識の問題……内山俊彦

宗教的認識と新しい存在……芦名定道

コミュニオンノ意義と展開(完)

——ロバートソン・スミスからデニールケムへ——
管康弘

書評 Taietsu Uno (ed.), *The Religious*

Philosophy of Nishitani Keiji
仲原孝

会 告

一、本会は会員組織とし会員には資格の制限を設けません、入会希望の方は606-01京都市左京区吉田本町京大文学部内京都哲学会(振替口座京都二一四〇三九番 京都哲学会)宛に年会費一、〇〇〇円と会誌代五、〇〇〇円(数冊分)をお払下さい。

又会員への会誌送付、バックナンバー購入及び発売に関する一切は東京都千代田区一番町一七番地創文社(振替口座〇〇一二〇一〇九二四七二)宛に願います。

一、会員の転居・入退会の事務及び編輯事務の一切は京都哲学会宛に御通知下さい。

一、本誌の編輯に関する通信・新刊書・寄贈雑誌等は本会宛にお送り下さい。

京 都 哲 学 会

606-01 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

平成六年十月十五日 印刷
平成六年十月二十日 発行

編輯兼 京 都 哲 学 会
発行人 京 都 哲 学 会

編輯代表 木 曾 好 能

編輯担当 長 谷 正 當

土 濱 野 研 三 司

発 売 所 株 式 創 文 社

久 保 井 浩 俊

本 社 102 東京都千代田区一番町一七一三
仮事務所 112 東京都文京区関口一四四一七

電 話 〇三・三三三・五・四三六一
振 替 〇〇一二〇〇九二四七二

印 刷 所 曙 印 刷 株 式 会 社

112 東京都文京区関口一四四一四

註 文 規 定

一、会員以外の購読者の御注文及び広告掲載に関する件は「創文社」へ御申込下さい。

一、本誌の御注文はすべて代金送料共(一部、送料七三円)前金にてお送り下さい。

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

NO. 560

October

1994

Articles

Naturphilosophie und Naturwissenschaft

zu Beginn der Neuzeit ...Tan Sonoda

Epektasis—Das Problem der Unendlichkeit bei

Gregor von Nyssa—.....Kenji Doi

How to Define the Concept of Logical Consequence

.....Kouji Hashimoto

Die Freiheit bei Meister Eckhart.....Yoshiyasu Matsui

Notes

Published by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-10 特別定價 2,781 圓 (本體 2,700 圓)